

高校生の内定率 最高

島根 85.2%、10 月末時点

島根労働局が30日、来春卒業予定の高校生と大学生などの就職内定率(10月末時点)を発表した。高校は前年同月比0.3%増の85.2%となり、統計が残る1995年度以降で最高値を記録した。大卒から高卒まで採用範囲を拡大する企業が増えているのが一因とみられ、人手不足の影響が色濃く出た。

高卒予定者のうち、就職希望者1018人に対する求人数は前年同月比2.7%増の3257人で、内定者は867人だった。

就職希望者のうち県内の希望者の割合は70.1%で2.7%減った。全体

の求人倍率は0.04%増の3.20倍、県内企業の求人倍率は0.22%増の4.56倍で、ともに1995年度以降で最高値だった。

県内の大学院・大学(島根大、島根県立大)は、就職希望者1069人のうち732人が内定した。就職内定率は、前年同月と変わらず68.5%だった。そのほかの内定率は短大・高専が5.3%減の67.6%、専修・職能が1.5%増の54.9%だった。(中島諒)